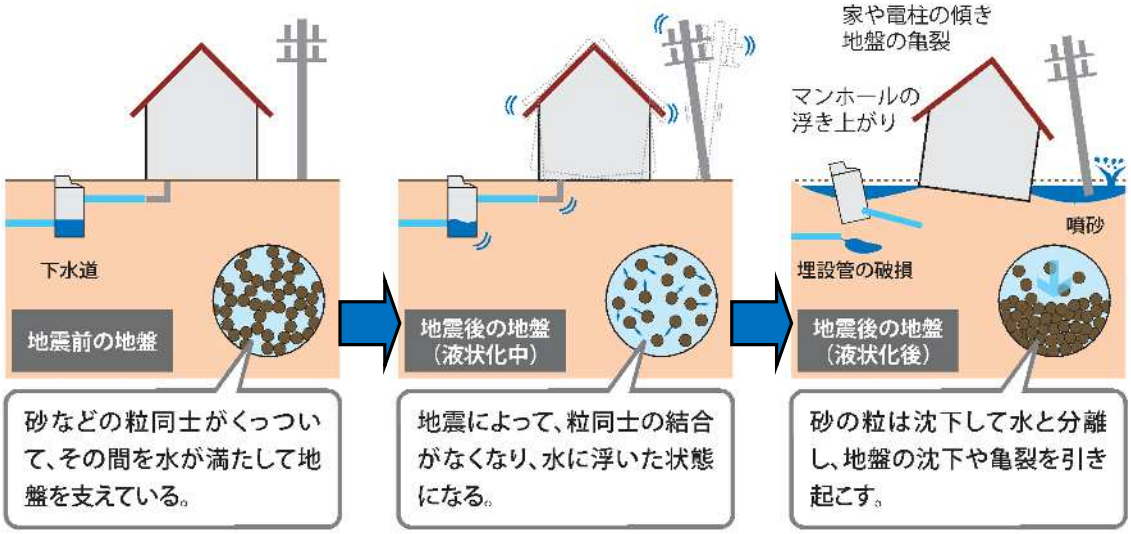
【建築物における液状化対策について】

江戸川区

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、区内においても地盤の液状化により、木造住宅が傾くなどの被害が発生し、区民生活に大きな影響が出ました。

このことを踏まえ、区は東京都と連携し、地盤に関するデータや地盤調査方法、対策工法などの情報提供をしています。

○液状化とは？　地震発生の際、地盤が液体状になる現象のことです。



○液状化対策について：建物被害に備えるには、建主や建物所有者が液状化の可能性を調査し、専門家と相談しながら対策を講ずることが重要です。

【検討手順】

液状化の可能性を調べる ※1
（液状化予測図※2 / 過去の地形図 / 土地条件図 / 地盤調査データ）

液状化の可能性があると判断

液状化の可能性がないと判断　END

建物被害に備えて検討する ※1
（検討には、地盤や建築についての知識が必要です）

あらかじめ対策を講じる
（地盤調査 / 地盤改良）

被害後に修復する
（修復工法の選定）

※１：専門家が相談に応じます。（地質調査技士／建築士）
必要に応じて【液状化対策アドバイザー制度】をご利用できます。
『一般社団法人 東京建築士会 無料相談室』※要予約　TEL:03-3527-3100

※２：東京の液状化予測図　令和 3 年度改訂版
https://doboku.metro.tokyo.lg.jp/start/03-jyouhou/ekijyouka/top.aspx

○区では、以下の資料の配布や閲覧サービスを行っています

- 「液状化による建物被害に備えるための手引（概要版）」の配布※3
- 地盤調査データ(ボーリング柱状図)の閲覧

※3 当該資料は「東京都建物における液状化対策ポータルサイト」でも取得できます。

【問い合わせ】　江戸川区都市開発部建築指導課指導係 03-5662-1105